



公明党
もとやま
本山 英子
議員

道路行政について

問 危険箇所の把握について、交通事故の件数、箇所数をどのように把握しているか。

答 市長 平成18年3月に、交通の安全の確保に関する施策の基本方針を定める、市交通安全条例を制定しました。また、平成28年9月に、本市の交通事故をなくすため、平成28年度から5カ年間の計画期間とした、第1次市交通安全計画を策定し、ソフトハードの両面から道路交通安全の対策を推進しています。

答 都市建設部長 危険箇所の把握の方法は、日々の道路パトロールや、教育委員会では実施している通学路安全点検、道路利用者からの通報等です。

問 改良計画についてはどうか。

答 都市建設部長 特に危険箇所である交差点等の安全対策について計画をしており、カラー舗装や外側線などの交通規制にかかわる安全施策の設置を検討しているところです。

問 松尾IT保健福祉センターの交差点には、なぜ規制標識がいまだに設置されないのか。

答 都市建設部長 山武警察署との協議において、交差点の形状、交通量及び既に付近に規制がしかれているなどの要因で、交通規制に至らない事案があると同っています。



松尾 IT 保健センター前の交差点

問 県・国への要望活動はどうか。

答 都市建設部長 整備が必要と思われる国道、県道につきましては、認識しています。国道及び県道の、特にわだち、傷んだ路面のほか、ガードレール等の

施設の破損などの対応は、市で発見した場合や道路利用者からの通報があった場合、まず、市で場所及び破損状況を確認し、状況に応じて、写真を撮影しています。確認作業終了後は、簡易なものとは判断できるも

のは、随時電話で説明を行い、説明が必要なものは、山武土木事務所へ赴いて破損状況を説明し、修繕等の依頼を行っています。また、路面標示の引き直しについても、同様に行っています。今後は、交通安全対策

や排水整備に関する県事業要望のヒアリングが定期的に予定されていることから、国道、県道における舗装修繕などの維持・補修についても、重点整備事項として、強く要望していきたいと考えています。

動物愛護と管理について

問 動物愛護と管理における市の取り組みはどうか。

答 経済環境部長 まず、捨て犬、捨て猫等の対策として、不妊去勢手術に対する助成、狂犬病の集合注射を毎年、各地区の公民館などを巡回して実施しています。また、年2回犬のしつけ方教室の参加募集を行うとともに、担当職員も基礎知識習得のために参加しています。

問 市内の捨て猫、捨て犬等の状況はどうか。

答 経済環境部長 捨て犬、捨て猫については、市内の調査結果は特になく、千葉県動物愛護センターの対処状況をお答えします。

問 狂犬病予防注射を行う際に、同時に動物病院で、登録手続も一緒にできるようにしてはどうか。

答 経済環境部長 獣医師の皆さんのご意見も伺いながら、本市で実施可能なのかということを検討していきます。

問 この愛護センターの管轄は、印旛、成田、香取、海匝、八日市場、山武の保健所管内になりますが、殺処分は、犬が平成25年度は959頭、平成26年度は589頭、平成27年度は215頭ありました。猫は、平成25年度は2千806匹、平成26年度は2千291匹、平成27年度は1千321匹と減少傾向にあります。